

第 8 1 8 回

定例教育委員会会議録

日 時 平成 2 8 年 6 月 2 8 日 (火) 1 0 : 0 0 ~

場 所 市役所 3 階 第 1 会議室

益田市教育委員会

第 8 1 8 回 教育委員会定例会

招集年月日 平成 2 8 年 6 月 2 8 日（火） 1 0 時 0 0 分～

招 集 場 所 市役所 3 階 第 1 会議室

議 事 日 程

第 1 会議録の承認について

第 2 教育長報告について

第 3 議題

議第 1 2 号 益田市教育委員会外部評価委員会設置規則の一部改正について

議第 1 3 号 文化財の寄贈について

報第 2 1 号 史跡益田氏城館跡（七尾城跡）における史跡指定地の寄附採納について

報第 2 2 号 益田市学校給食における食中毒防止強化月間実施要綱について

報第 2 3 号 益田市立道川小学校の統合同意について

第 4 その他

- ・ 中学校版カタリ場について
- ・ 公民館の活動実績について
- ・ 益田市の教育の概要について
- ・ 文化財課が関わるイベントについて
- ・ 家庭学習の推進について
- ・ 献立について
- ・ 6 月議会一般質問について
- ・ 6 月補正について
- ・ 平成 2 8 年 7 月 1 日付人事異動について
- ・ その他

出席者

教育委員会	教 育 長	村 川	修
	教 育 委 員	永 田 千	秋
	教 育 委 員	水 上 芳	枝
	教 育 委 員	渡 辺	隆
	教 育 委 員	中 野	純

事務局職員	教 育 部 長	川 原 敏 之
	教 育 総 務 課 長	島 田 博
	学 校 教 育 課 長	澤 江 幸 実
	学 校 教 育 課 参 事	城 市 博 明
	学 校 教 育 課 長 補 佐	浅 野 隆 司
	社 会 教 育 課 長	大 畑 伸 幸
	文 化 財 課 長	木 原 光
	歴 史 文 化 研 究 セ ン タ ー 主 任 主 事	中 司 健 一
	教 育 総 務 課 長 補 佐	山 本 勝 利
	教 育 総 務 課 主 事	岩 本 純 平

村川教育長 それでは第 8 1 8 回定例教育委員会を開催したいと思います。

（会議録の承認）

村川教育長 会議録の承認をいただきましたので、続いて教育長報告に入りたいと思います。

（教育長報告）

村川教育長 《P 2 ～ 3 教育長報告で説明》
何かご質問等ありますでしょうか。

渡辺委員 6 月 1 9 日にあった島根県母親大会というのはどういうものなんですか。

村川教育長 これについては率直に言いますと政治的な意識もあった会ではありました。ただ、今回は大阪市立大空小学校の元校長の木村先生という方が講演をされまして、特別支援学級を設けず一つの学級で教育を行って、全員で支え合いながら学ぶというような特別な教育をしておられた方で、そういった関係の講演や勉強会をされておられるということで、今回こうしてお呼びして学校の先生方も含め母親の皆さんに集まっていって研修会を行ったわけです。そういうわけで今回参加させていただいて挨拶もさせていただきましたが、非常に参考になる講演でありました。議会質問でもお答えをしたんですが、学級を分ける、分けないは仕組みとしてどうしても必要なことですが、当然分けてやってはおりますけれども、一緒に学級で教えるという環境づくりもしておりますし、その重要性も十分認識しております。ただ、常に一つの学級で教えるというのは当然難しい面があります。ですが、こうした取組というのは今後の参考にしていきたいと思っております。今回特にそういう母親大会という場ではありましたが、講師の先生がそういう特別な方でありましたので、参加させていただいたところです。終わりのところで大会宣言ということで政治的なメッセージもありましたが、それはそれとして、講演の中身については非常に参考になったかなと思っております。ほかにご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

（議題）

村川教育長 それでは議題に入りたいと思います。まずは議第 1 2 号の益田市教育委員会外部評価委員会設置規則の一部改正について説明をお願いいたします。

島田課長 議第 1 2 号についてですが、先月の定例教育委員会でもその他のところで外部評価委員の人数について協議させていただきました。今の規則

上では「5人」と規定されておりますが、そこを実務的には人数を減らして、教育に携わっておられた方々を中心とした組織に再編しようということで、この規定を「5人以内」と改めまして、今まで3人以上の参加がないと会が成立しないこととされておりましたので、それを「半数以上」と改めまして、過半数の出席で成立するという内容に変えようとするものです。そのほかにも文章表現の修正を一部しております。なお、現在予定しておりますこの3人の委員さんですが、広島経済大学の志々田まなみ先生、元校長の石川文雄さん、それから前回から引き続きになりますが、PTA代表として出雲佳代子さん、この3名にお願いできないだろうかということで今打診をしているところです。

村川教育長 前回の定例会でも外部評価委員会の今後の方向性等についての説明をしましたが、今回はその改正ということになります。これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは承認いただける方は挙手をお願いいたします。

教育委員 =全員承認=

村川教育長 続きまして、議第13号の文化財の寄贈について説明をお願いいたします。

木原課長 このたび市内の個人の方から橘好氏奉書という古文書の寄贈の申出がありました。この史料の価値を踏まえまして、益田市としてこの寄贈を受けたいと思いますので、ご審議のほどよろしくお願いしたいと思います。今日はその史料の現物を用意しておりますので、これについて中司主任主事のほうから実際に資料をご覧いただきながら概要を説明させていただきます。

《中司主任主事による史料の説明》

村川教育長 これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは承認いただける方は挙手をお願いいたします。

教育委員 =全員承認=

村川教育長 続きまして、報第21号の史跡益田氏城館跡（七尾城跡）における史跡指定地の寄附採納について説明をお願いいたします。

木原課長 このことについては前回の定例教育委員会で、その時点での経過報告をさせていただきました。その後P11にありますとおり、5月21日に地元説明会を行い、30日には飯塚様と株式会社ジュンテンドーより正式に寄附申出書が提出されまして、市長決裁を経た後に、6月6日付けで無償による土地贈与契約を締結したところです。6月30日には飯塚様と市長との面談が予定されておりまして、市長のほうから直接お礼を申し上げる予定となっております。7月1日からは一部を有料駐車場

として許可をすることとしております。活用計画につきましては、この土地は当面七尾城への見学者用の無料駐車場として活用しますが、一部については地元の城山自治会から駐車場の確保が厳しい事情を考慮してほしいという要望がありましたので、やむを得ない事例については市のほうで許可をする形で有料駐車場として使用を認めるということとしております。将来的な活用策につきましては、今後益田氏城館跡整備基本計画の中で検討して、その計画書に盛り込みたいと考えております。

それから併せてその他のところで寄附・寄贈の報告がございますけれども、今回は今まさに説明しましたこの件のみが該当しておりますので、その他での報告は省略させていただきます。

村川教育長 これについて何かご質問等ありますでしょうか。

渡辺委員 城山自治会がこれを借りて有料駐車場にしたいということですが、その入ってくるお金はどこに入るんですか。

木原課長 市のほうに入ります。実際には駐車場としての使用の一定の管理を自治会にお願いして、あくまでもそこから頂く駐車料金については市のほうに入れていただくということになります。

渡辺委員 駐車場としての使用料は市に入るけれども、市はそこに管理費をまた払うということですか。

木原課長 そのことについての管理費は払いません。無償で駐車場としての使用に関しての管理をお願いするということです。草であるとか環境の整備についての管理もありますが、これは別に自治会のほうに若干の委託料で委託するという方向で進めております。

村川教育長 ほかにご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 ＝全員了承＝

村川教育長 続きまして、報第22号の益田市学校給食における食中毒防止強化月間実施要綱について説明をお願いいたします。

島田課長 食中毒防止強化月間ですが、6月16日～7月15日ということで全国的な動きがありまして、益田市教育委員会としても毎年この期間に啓発をするということで要綱を定めて各学校にお知らせをしております。教育長の事務委任事項でこういった要綱を定めているところなんですけど、教育委員会名でこの要綱を作っておりますので、報告を当然しなければならない事項なんですけど、今までしておりませんでした。改めて今回からする必要があるので、反省を含めてご報告させていただくというところなんですけど、期間がもう始まっておりますので、本来であれば5月定例教育委員会で報告すべきものであったということで、来年度からは始まる前に報告をさせていただこうと思っております。具体的なところについてはお配りした資料の食中毒防止月間実施表をご覧ください。

ければと思いますが、強化月間の徹底というところが教育総務課の担当となりまして、実際に調理にあたります高津学校給食センター、そして実働されております益田クッキングフーズさんにそれぞれ手洗い等の徹底ということで、改めて衛生管理の研修を行っております。そして給食会から各学校に給食だより等を通して食中毒防止への啓発を行っております。そして納入関係の中卸業者の方々にも衛生管理を改めて徹底してほしいということで随時お願いをしているところです。それから各学校には横長のステッカーを用意しておりまして、児童生徒が手洗いをしやすいようにということで、目に付く所に張っていただくようお願いをしているところです。

村川教育長 これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

村川教育長 続きまして、報第23号の益田市立道川小学校の統合同意について説明をお願いいたします。

浅野補佐 報第23号についてですが、事前に送付させていただいております資料をご覧くださいと思います。道川学校再編対策協議会につきましては、平成22年8月に第1回目の協議会を開催し、以来14回の会を重ねまして、平成28年4月14日に統合に向けて同意する方針を決定いただきました。その後同月17日に道川自治会総会においても対策協議会の方針決定を報告し、地区の皆様方の了解をいただきました。道川小学校の統合に関する同意書については別添として写しを付けておりますが、6月8日付けで同意書を頂きまして、「益田市立道川小学校を、平成29年3月31日で廃止し、平成29年4月1日から、現・益田市立匹見小学校へ統合することについて、（中略）同意する。」という形で頂いております。この件については6月議会においても、17日には総務文教常任委員会、そして24日には全員協議会でもご報告させていただいたところです。今後につきましては、匹見上地区・下地区と校区が広がりますので、匹見町内についてはできるだけ早くご説明に参りたいと考えております。資料のほうには6月下旬と書いておりますが、調整の結果、匹見上地区については7月5日、匹見下地区については7月11日ということになりまして、今回の経緯並びに今後へのご理解、ご支援をお願いしたいと考えております。なお、この同意書については、本年12月を予定しておりますが、最終的に諸条件を加味した覚書というものが最終的な形となります。またご報告をさせていただきたいと思いますが、今後地元と協議を丁寧に重ねてまいりたいと考えております。なお、道川小学校は昭和49年に元組小学校、下道川小学校、赤谷小学校の3校が統合されて、今の道川小学校として発足しております。以来

42年の間に卒業生が97名、現在2名の6年生がおりますので、今年度末で99名の卒業ということになります。

村川教育長 来年4月の統合に向けて匹見上・下地区についても説明を行った上で、当然学校同士の取組とともに子供たちの地域での活動というものも今後どうしていくのかとか、様々なことを地域の中でも話をしてもらおうというような中で、できるだけ円滑な統合に向けての取組をしてまいりたいと思っております。これについて何かご質問等ありますでしょうか。

渡辺委員 私も以前統合問題について関わりを持ったことがあるんですが、地元は当然反対して、できるだけ統合したくない、学校は地域のシンボルだというような思いの中で、なんとかみんなで学校を支えながら活力を維持していきたいという思いというのはものすごく強くありました。三葛小学校のときも澄川小学校のときもそうだったんですが、保護者が子供を大きな学校に行かせてサッカーや野球をさせてあげたいということで、住居を移転してでもその学校に行きたいということがあって、そういう人が1人出たらもう地元を支えようがないからとすぐに統合が決定して、12月頃に決まったこともありました。そのときは補正予算を付けて、閉校行事をして、その後1年遅れて閉校記念誌を作ったんですが、今回も保護者の中には小さな学校に行かせるよりは初めから大きい学校に行かせたいという方もおられるみたいで、やっぱり地元の皆さんの統合に対しての思いと保護者の方の思いというのは地域の中で若干ずれているような気がします。中には保護者も地域も一体となって1人になってでも子供がいる限りは存続させるという思いを持った方もおられます。ですがやっぱり時代の流れの中で対応してあげないといけないという思いは私も持っています。

村川教育長 確かに今回の統合合意についても地域の方々の思いというのはかなり寂しい思いをされておりますので、そこはしっかりと受け止めないといけないところだろうと思っております。統合してからは安全な通学を確保したりとかそういうことは当然行いますが、その上で道川でもきちんと子育てができるような環境づくりを、やはり道川の方だけでなく我々含めてみんなで取り組んで、いろんな方の意見をいただきながらそういう安心感を残していかないといけないと考えております。

渡辺委員 私が昭和53年に教育委員会に異動になった少し前に、先ほどのように元組小学校などが統合して道川小学校になったんですが、遠くに住んでいる子供は小学校の寮があったのでそこに住んでいたんです。それでそのときの先生からも夜中に子供の面倒を見てあげないといけないとかそういうことを言われて、これはいけないと思いまして、小学校に寮があるということは中学校でも寮生活をするだろうし、高校でも寮生活をするだろうということで、そうなるとうそういう子供は一番かわいい盛り

を親と一緒に過ごすこともできないと思ひまして、なんとか寮はなくそうじゃないかということと言ったんです。ですが、当時私は組合の役員もしていましたから、正規の職員に寮の調理師さんもおられるのでその方の職場がなくなるということもありまして、間に入ってなんとか説得したということがありました。それでも近年はスクールバスの運行というような形でなされていますが、スクールバスが運行するからいいというのではなくて、ほかの子供たちと比べれば20～30分、下手をするとも1時間も早く家を出ないといけませんから、負担はものすごくあるんですが、そうは言っても親の気持ちや子供の気持ちというのはやっぱり量ってあげないといけないと思います。

村川教育長 益田市の教育大綱でも子育ての環境づくりについて大きな柱として出しておりますので、それが逆行しないように改めてしっかりと議論しながら進めていきたいと思っております。

永田委員 道川小に今おられる子供たちは全員道川の子なんですか。Iターンで来られた子はおられないんですか。前は結構そういう方がおられたと思うんですが。

渡辺委員 Iターンの方はあちこちにおられますが、道川にはおられないと思います。子供さんを連れてのIターンは匹見小学校にはおられると思います。

浅野補佐 前は道川におられましたが、今は匹見に出ておられます。

村川教育長 ほかにご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

(その他)

村川教育長 それではその他に入りたいと思います。何か報告事項がありましたらお願いいたします。

大畑課長 昨日は高津中学校で初めて実施しました中学校版カタリ場にご参加いただきましてありがとうございました。また、中野委員さんにはお話をいただきましてありがとうございました。あの後に学年主任と指導に当たっていただきましたカタリバの方と話をしたんですが、非常に新鮮であったということ、それから子供たちの聞く姿勢が非常に良かったということで、非常に喜んでおられました。今後まだまだブラッシュアップしていく必要がありますが、そういう形で中学校に対して益田の大人たちと語るということが大切なことだというのが少しは主張できたかなと思っています。併せて参加された10名の方から感想をいただいたんですが、中学生とファシリテートしながら会話を引き出したりだとか、関係づくりをしていったりするようなスキルを高めたいということで、今回事前研修を2時間ばかりしたんですが、是非またしたいという声があ

りましたので、今後は継続的に子供に関わる大人たちの具体的なスキルアップのための研修を、現場とこの研修の繰り返しができるようにしていきたいということを反省したところです。それからまた同じ形になるかは分かりませんが、7月6日に美都中学校で2名の方、今回も中野委員さんと、それから澄川歯科医院の澄川先生にお話しいただくということで、これは午後1時30分からとなっておりますので、またよろしければご覧いただいて、中学生と地域の大人が関わる様子を、美都と町場の子供とではまた反応が違うと思いますので、いろんなところでのパターンを作っていきたいと思っています。

それから公民館の活動について前回まとめたものをお配りしましたが、今の状況を言いますと、お配りしたエクセルのシートに直接公民館が入力できるようにしまして、公民館の端末だけでなく役所のパソコンからも見るができるようにしました。しかもそのシートに全ての公民館がアクセスすることができて、ほかの公民館がどんなことをしているのかを見ることができるようになりましたので、こういった見える化を促進して更に取り組んでいきたいと思っています。内部では今各課がいろんなことを公民館でしていますので、その情報共有についてももっとしっかりしたものにしていくということで、少しずつ整理をしているところです。お渡ししているシートにまだ全ては入力できていない館もありますので、また来月には現状のところを見ていただいて、絶えず見える化をしていしながら、公民館の活動が特色を得ながら更に学びの部分をしっかりできるようにしていきたいと思っています。見ていただいて分かるように、昨年度はどれが学びなのか分からないというものが多々あった公民館もございますので、そこに対しては今具体的に活動を一緒に作っていく中で、学習ということをしっかり身に付けてやってもらおうと思います。ですがなかなか20館ございますと手が回らない部分もありますので、また公民館に顔を出していただいて、今年はどんな活動をしているかというお声がけを是非していただいて、刺激を与えていただけたらと思います。

村川教育長
渡辺委員

これについて何かご質問等ありますでしょうか。

子供たちが先輩の体験談とか考え方を子供たちの将来のためにお話しされるのに、子供たちも真剣に勉強しておられたんですけど、その聞くときの環境というのが少し気になったんです。高津中学校にはせっかく武道室というがあるので、そうした所で余計な声あまり聞こえないようにして、学ぼうとしていることに集中できるような形の中でしてあげたほうがいいんじゃないかなと思いました。そうしたところも少し配慮して学校とも協議しながら進めていただけたらと思います。

大畑課長

本来ですと小さいグループで話すものなんですが、今回はお二人の素

- 晴らしい生き方のモデルを提示しようということだったんですが、おっしゃるとおり隣に武道場がありましたので、次に生かしたいと思います。
- 永田委員 久しぶりに子供たちが真剣なまなざしで集中して聴いていて、こんな中学生がまだいたのかと思ひまして、すごく感動しました。確かに何人かは集中できない子もいましたが、ほとんどが本気で聴いていて、そういう姿を見て本当に素晴らしいなと思ひました。
- 大畑課長 高津中学校も本当によく頑張っていて、いろんな課題を持った子もいる中で本当に真剣に子供たちが聴くことができている、本当に高津中学校はご苦労されたんだなということがうかがえる様子でした。
- 水上委員 高津は私の地元なので、「おばちゃん」と声をかけてくれる子が何人もいて、すごく大人びて成長していて、小学校で見ていたときとは違って真剣に聴いている様子を見て本当に感動しました。もうこの子供たちが3年生になったんだなと思って、中には一緒に聴こうとか高校がどうとかっていう話をして、違った意味でそういった子供と触れ合う機会が得られたので良かったです。それからこれは体育館でするのがスタイルなんですよね。
- 大畑課長 あれがカタリバのスタイルで、準備がしやすいということもあって、いろいろな考え方はあるかと思いますが、当面はカタリバのスタイルを踏襲させていただこうと思ひております。
- 水上委員 ああいういわゆるラフというか、あまり堅苦しくない所のほうが子供にとっても、会議型のスタイルで聴くよりも、円陣を組んでみんなで座って、BGMもかけながら、というのが子供たちにとっても入りやすく、ああいうのがきっと今のスタイルなんだろうなというのはある意味勉強させていただきました。これは1回目ですけど、また回数を重ねると子供もどうしたらいいのかというのが分かってくると思ひますので、話を聴くときの接し方とか、気持ちの広げ方とかが分かれば、同じ学校で何回か続けると本当の効果が出てくるんじゃないかなと思ひました。
- 大畑課長 大東高校が今年やったときに、中学校でやっていることを高校で初めてやった子供さんがすごかったそうです。2回目以降はかなり子供たち自身の変容があるのだらうと思ひますが、当面今の子供たちは高校で、今のところは益田高校だけです、高校でもできるようにしながら是非2回目、3回目を具体的に作っていきたいと思ひています。
- 永田委員 少し気になったのが、グループで話し合いをするときに最初に自己紹介があって、その中で今朝の朝ごはんのメニューを言うというのがあって、思春期の子にとってはどうかなと思ひまして、上手にその場を切り抜ける子もいたかもしれませんが、それでも朝ごはんを食べてない子もいるかもしれませんが、お茶漬けだけの子もいるかもしれませんが、そういうことを発表させるというのはちょっとまずいかなと少し思ひま

した。それでもこれは全てをさらけ出すんだということを言われたんですけど、思春期の、特に女の子にとっては言いにくいこともあるでしょうから、そういうところへのちょっとした心づかいがあればもっと良くなったかなと思いました。

大畑課長 今回学校には一番言いやすい関係性の良いグループ化を必ずしてほしいということをお願いしましたので、そういう面ではお互いに語り合えるような環境ではありました。要するに今回初めて会う大人と語るのに、隣にいる友達と語り合えないというのは困りますので、それを今回条件にしています。それを加味した上での最終的な質問項目ではあったと思いますが、これから更にカタリバと相談して今後につなげていきたいと思っています。

永田委員 3人のグループが1つしかなくて、ほかは5～6人だったと思うんですけど、そういうグループの人数というのはまちまちでいいのかなと思いついて、逆にそれが狙いなのかもしれません、できればある程度同じような状況で子供たちが自分の意見を言ったり話を聴いたりして、いろいろなことに気付くのには人数がある程度多いほうが良いような気がしたんですが、何か意図があったんでしょうか。

大畑課長 人数についてはやはり一番話しやすい関係性ということで、担任の先生と子供たちで話し合っただけでグループを作ったという経過があります。優先順位としては、まずは初めて会う大人と話しやすい環境づくりを最優先にしました。いずれそれが慣れてきたりだとか、良い集団が作れたりしたら、そういった人数のばらつきの問題についてはクリアできるかと思っています。

中野委員 子供たちに学ぶ姿勢ができていて、いろんなことを聞いていただけたかなということと同時に、そこに参加していただいた大人の皆さんも子供たちから学んだことがあったかなと感じています。今後何か波及して、家庭教育ではないですが保護者の方も参加できるような雰囲気づくりをしながら、振り返りとして各家庭に持ち帰ってコミュニケーションがとれるようなきっかけ作りにもつなげていければ、このカタリ場が実りあるものになるのかなと思います。

村川教育長 これは益田版カタリ場ということで、地域で活躍しておられる先輩方ということなんですが、今のふるさと教育なり人材育成でいろんな関連性を持って発展性があるものだと思いますので、今後は是非ブラッシュアップしてしっかりとした展開にしていけたらと思っています。ほかにご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

村川教育長 そのほかにもありましたらお願いいたします。

島田課長 お手元にお配りしております益田市の教育の概要という冊子についてですが、これについては前回編集について若干の変更をしたいということでご相談させていただきましたが、最終的に出来上がりましたので今日お配りしております。最初のところでは今まで各課の事業内容をお載せておりましたが、今回からは教育に関する大綱を改めてここで知っていただきたいということで載せております。それから3月議会で教育長から申しあげました教育大綱を踏まえた平成28年度教育行政の取組方針について全文をお載せております。その次は資料編となりまして、学校関係の情報については5月1日、それ以外の情報については昨年度の実績をお載せております。この冊子については各市議会議員さんにもお配りしております。各学校にも配付する予定としております。

村川教育長 毎年発行しております教育の概要について、今年は少し内容を変更したものであるということですが、今後ご活用いただければと思います。これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

村川教育長 そのほかにありましたらお願いいたします。

木原課長 お手元にイベントのチラシをお配りしております。1つ目は重ねてのご案内になったかもしれませんが、歴史民俗資料館で企画展「石州口の戦い」が継続しておりますので、是非ご覧いただきたいと思います。2つ目は匹見地区の民俗をテーマにした講座を7月16日に開催しますので、そのご案内をさせていただきます。

村川教育長 これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

村川教育長 ほかにありましたらお願いいたします。

城市参事 お手元に「家庭に学びの環境を」というチラシをお配りしております。家庭学習推進のためのチラシでございますが、昨年度来から作成しております。ようやく完成しましたので、早速学校のほうに配布したところ。小学3年生から中学3年生までの各家庭に届くように、7月の個人面談で担任のほうから直接説明しながら渡していただきたいということを学校のほうにお願いしております。

村川教育長 これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

村川教育長 ほかにありましたらお願いいたします。

島田課長 7月の献立をお配りしております。昨年度までは前月の献立実績をお配りしておりましたが、小さい写真を載せたものをお配りしてもなかなか

か伝わりにくいだろうということで、特に今回用意しておりません。益田市のホームページの高津学校給食センターのページで写真を大きく載せておりますので、スマホやタブレット等でもご覧いただけますのでまたご確認していただけたらと思います。7月の献立については、テーマが「夏を元気に乗り切る食事をしよう」ということで、夏野菜をたっぷり使うことを意識して献立を作っています。5日の「鶏と野菜の梅肉和え」、7日の「さごしのゆずソースがけ」、12日の「アジの南蛮漬け」と「切り干し大根の味噌汁」、そして20日の「鶏のコーンフ레이크焼き」とあるんですが、これらについては初めて作るメニューとなっています。今までは設備の関係上どうしても既に味付けされているものを温めて提供することしかできなかったんですが、こちらで一つ一つ味付けをして調理して提供するということができるようになったメニューとなっています。また、パンを食べたいという声が強くなりまして、そこに応えたいという気持ちは栄養士のほうも持ってはいるんですが、実は先月に続いて7月もパンの日はございません。というのも、食べやすいようにということで、パン食になるとどうしても水分が不足して嚥下しにくいということがありますので、意識してパンの日を設けておりません。それから裏のほうに小学5年生と中学2年生を対象にしたアンケートの速報を載せております。最終の集計についてはまだ細かい意見等をまとめているところですが、おおまかなところについては、まずご飯の量については大体ちょうどいいということでした。それから味については小学生の65%はおいしいという回答で、中学生は31%しかありませんが、普通という感想が60%ありました。それぞれおいしくないという感想を持たれた方が10%未満でしたので、おおむね味については満足していただけているのではないかなと思っています。そして今回一新しました食器・箸・トレイについてもおおむね使いやすいというご意見をいただきました。ただ、トレイについては食器が1つ増えた関係で4つの皿を乗せることになるんですが、それがバランスが悪くて乗せにくいという声がありました。特に小学校低学年はトレイに一つ一つお皿を乗せていくのがなかなか難しくて、そこは学校側でも工夫しながら改善していただいているという状況です。それから保護者の方から魚が増えたという声をよく聞くんですが、確かに魚を使うことが多くなりまして、骨のない魚を使うようにはしているんですが、意識してたまには骨のある魚を使っています。献立小委員会でもこれについてお伝えしたところなんですが、保護者の方からは逆に魚には骨があるものだから、それを箸を上手にを使って食べるということを、給食を通して教えてほしいという意見があって、現場としては悩みどころだなというところではあります。そういうご意見がありました。それから今回給食が変わったとい

うことで、ご家庭で給食を通じた話題が増えたというご意見もいただいております。

村川教育長 これについて何かご質問等ありますでしょうか。

永田委員 7月7日が七夕献立ということなのですが、以前勤めていた学校でクリスマス献立とかそういうことが書いてあると宗教的に食べられない子がいて、そのときは栄養士さんをお願いしてうちの学校だけ消してもらったということがありました。小中連携献立とか益田の食育の日の献立とかっていうのは問題ないでしょうけど、七夕とかクリスマスとかの行事食のときは多少配慮が必要な子がおられるんじゃないかなと思います。かなり前のことです。今はどうか分かりませんが、こういう理由でその日は弁当を持ってくるという子も当時いましたので、その子は表示を消したら食べられるということだったんですが、そういうことにこだわる家庭もあるかもしれませんので、せっかくなら全員で給食を食べたいです。もしそういうことがあるなら少し配慮をいただきたいと思います。

島田課長 もしそれが七夕に該当するとなると、7日に出すゼリーが「七夕ゼリー」という商品名なのですが、そういうところも配慮するべきということになるんでしょうか。

永田委員 クリスマスというのを消してもらったときにケーキが出ても食べていたので、献立にそういうことが書いてあったのがいけなかったんだと思います。

村川教育長 そういう話を初めて聞いたんですが、七夕は宗教的に何かいけないということがあるんですか。

永田委員 七夕が宗教的にどうかというのは分かりませんが、以前クリスマスのときにそういうことがあったということです。

村川教育長 食育推進計画というのを県も市も作って取り組んでいるんですが、その中で行事食を食べようというのがうたわれています。行事食を大切に子供たちにも意識させるというものですが、逆にそこが支障になるかもしれないということになると、何がどういけないのかというのを確認する必要があると思います。

永田委員 ほとんどの子供は大丈夫だと思いますけど、1人でもそういう子がいるかもしれませんので、やっぱり給食費も払っていますので、その分の給食費を返すというのならまだいいと思いますけど、全ての子供を大切にするという意味でも少し意識していただければと思います。行事食を子供に教えるというのは今の時代すごく大切なことだと思いますので、ですがもしかしたらそれがマイナスになる子もおられるかもしれませんので、また調べていただければと思います。

中野委員 給食のアンケートの集計をお示しいただきましてありがとうございます。

した。こうやって子供たちの意見をしっかりと教育委員会として取りまとめをしていただいて、私も分かりやすくなりましたし、保護者の方に対しても子供たちがどう感じているのかということが全体を通して、小学5年生と中学2年生ということではありますが、お示しできるのかなと思っています。それから昨年度は保護者代表という立場で魚料理が少ないということを意見させていただきましたが、今年度はそういった意見を加味していただいているということで感謝しております。今魚食普及ということもありますし、子供たちもなかなか魚料理を食べられないとか食べず嫌いということもありますので、この学校給食を通じて、益田市は日本海にも面していますし、地元の魚も取れると思いますので、親しみを感じてもらえるように引き続きお願いできたらと思います。

島田課長 ちなみに7日の「さごしのゆずソースがけ」なんですが、さごしという魚は何かご存知でしょうか。鰯の幼魚のことを言うらしいんですが、それも栄養士のこだわりで鰯と表記せずに興味を持っていただくためにさごしという名前を使ったそうです。

渡辺委員 魚の名前というのは何通りもあるものですから、そういうものを覚えてもらうためにはこういったこともいいかもしれませんね。

村川教育長 ほかにご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

村川教育長 ほかにありましたらお願いいたします。

川原部長 このたびの第520回益田市議会では10人の方から一般質問がありました。現在議員さんは21人いらっしゃいますが、10人という人数は私が知る限りでは一番少なかったと思います。教育委員会関係では3人の方から質問があったんですが、まず河野議員さんからは学力向上の推進ですとか高校入試の関係などについて質問がありました。それから安達議員からは美都学校給食センターに関して地元雇用と地産地消の取組についての質問がありました。最後に永見議員さんからは環境問題に関連して食品ロス削減への取組についての質問と、若者の政策形成過程への参画ということで益田人100についての質問がありました。

村川教育長 議会についてはひとまろビジョンでも中継なり録画放送をしておりますけれども、こうして整理をしてできるだけお知らせしながら、今後の参考にしていただけたらと思っております。これについて何かご質問等ありますでしょうか。

永田委員 資料の中にICTの活用についての記述があったので関連して質問するんですが、今匹見中学校にタブレットを配っておられますよね。先日の新聞で個人情報流出の記事があったんですが、子供に持たせるものは大丈夫なのかもしれませんが、その辺の指導というか対策をしっかりと

していかないといけないと思うんですが、その辺りについては大丈夫なんでしょうか。

澤江課長 新聞に出ていたのはデータをクラウドという所に保存して、セキュリティをかけているところに侵入してデータを取ったというものですが、益田市においてはそのクラウドというのは使わずに学校のサーバーにデータを保存しています。ですから子供の端末にはデータは残らないようになっています。ただ、そのサーバーが攻撃されるということが考えられますので、それについてはファイアウォールであるとかそういったセキュリティをかけています。実際にはどうしてもいたちごっこのような形になりますので、整備するときには最新のセキュリティをかけるということになります。

村川教育長 今後活用が広がっていきますので、セキュリティについては常に新しいシステムを取り入れながらということになろうかと思います。ほかにご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

村川教育長 ほかにありましたらお願いいたします。

島田課長 同じく6月議会において一般会計予算の6月補正がありました。通常6月補正というのは財源が確保しにくい時期ということもありまして、あまりないのが一般的なんです。国の財源を使って市の負担がないような事業、加えて急いで着手する必要があるものに限り補正が行われるときがあります。今回教育委員会関係は3事業がございまして、お手元に議会にお配りした説明資料をそのままお配りしておりますが、まずチーム学校推進事業費として150万円の補正となっております。これは当初予算にはないもので、補正で150万円要求して議決を得たものです。事業内容としては、学校が抱える様々な問題に対して、学校長を中心に地域の方々と教職員が一体となって、課題解決に向けたチームを構築していくというもので、モデル校を益田中学校と高津小学校として、それぞれ二校の体制作りを国の委託金150万円を受けて実施するというものです。それから次に学校建設事業費ですが、補正前事業費が2億8,730万6,000円とありますが、これが当初予算の額です。そこから補正要求で1億2,981万8,000円の減額で、補正後の金額が1億5,748万8,000円にしようという補正内容です。これだけ見ると減額の内容に見えますけれども、実は安田小学校の屋内運動場の建設費です。当初予算を要求したときにはまだ実施設計ができていませんでしたので、概算で平米単価を出しまして、そちらを積み上げたものとして予算要求をあげておりました。その事業費が実施設計で確定したということになるんですが、非常に複雑な内容でありまして、別添

資料を付けておりますが、事業費 2 億 5, 4 0 0 万円が安田小学校の屋内運動場建設費として当初予算に計上した額です。この財源としては国庫負担金が 1, 5 4 7 万 6, 0 0 0 円、国庫交付金が 5, 1 5 4 万 9, 0 0 0 円、地方債が 1 億 8, 3 9 5 万円、残る 3 0 2 万 5, 0 0 0 円が一般財源という予算になっております。これで当初予算を議会に提案しておりましたけれども、急きょ国のほうから、国庫負担金と交付金のそれぞれが 2 8 年度の交付が難しくなる可能性があるので、2 7 年度の補正予算を付けるので、2 7 年度で事業を組みなさいという指示が来ました。それがもう当初予算を計上した後でしたので、普通なら当初予算を落として 3 月補正で計上するところなんです、それが間に合わなかったというところで、二重に計上した形で、全く同じものを 2 7 年度の 3 月補正にあげています。今回それが国の財源が負担金という部分が 2 8 年度の負担金が決ましまして、交付金は 2 7 年度の交付金に当たるということで、一つの事業なのに 2 か年の財源があたりという複雑な形態になってしまいました。当初予算については、3 月補正と二重に同じものが計上されておりますけれども、3 月補正であげたものは 2 8 年度に繰り越しということで、もう補正をすることができないんですが、当初予算にあげている 2 億 5, 4 0 0 万円のうち、負担金に相当する事業費部分だけを残して減額する必要があるというのが一つ出てきました。実施設計が終わりまして、変更前が 2 億 5, 4 0 0 万円という事業費がありますが、これが実施設計によりまして、3 億 5, 2 1 3 万円ということで、約 9, 8 0 0 万円増額となっております。今安田小学校の児童が増えていまして、新しく体育館を建てる場合はステージは先般の真砂小学校のような可動式、普段は壁に収納して必要なときだけ引き出すという形態を基本としているわけなんです、安田小学校の場合は児童数が多くて、ステージを広げたときにアリーナ部分が狭くなってしまうということで、全校生徒が入れなかったり学習発表会などで保護者が入れなかったりして、運営上困難ということが設計上分かってきて、昔ながらのステージを専用に分ける必要があるということで、ステージの設置費用というのが新たに出てきています。それからこの学校でも最近出てきているんですが、キュービクルという学校現場の受電設備の容量が一杯になっておりますので、拡充する必要があります。今回体育館を整備するにあたって、面積が広がることもありますので、そのキュービクルの改修が必要になってくるということで、実施設計でその規模が判明しまして、その金額で 2, 1 5 0 万円の増額が出ています。それから大きなもので浄化槽の新設費 3, 5 0 0 万円なんです、今使っている浄化槽というのが前の法律での基準ということで、今の基準には合っていないものです。排水しているものは改修後は必ず新基準に合わせ

ないといけないんですが、古いままということで、あまりきれいではないものを放流しているという状態が続いています。浄化槽の利用方法としては補強してその上を駐車場にできないだろうかということを考えたんですが、補強するにも耐えられないということが判明しました。浄化槽を今回のこの工事に合わせて新しいものに違う場所に設置したほうが、これが全面的に傷んで改修してしまいますと維持補修ということで国からの交付金も受けられませんし、起債も起こすことができず全額一般財源になります。今回の工事の中で併せて行いますと、交付金の対象でもありますし、起債も起こすことができるので、最終的には起債というのは償還していきますので市の負担にはなりませんけれども、一時的な一般財源の負担を抑えることができるということで、今回の工事に併せて行ったほうがいいという判断で浄化槽の新設というものを計画しております。そして古い浄化槽についてはそのまま埋め戻しましてその上を駐車場として整備するという考えで、それが3,500万円ということです。そういう様々な事情が膨らんでしまして、9,800万円の増額で3億5,213万円となっております。これを交付金事業部分と負担金事業部分とに振り分けて、繰り越しの予算を使うのか、28年度の当初予算を使うのかということで振り分けをしています。交付金と負担金というもののなんですが、現状の安田小学校の体育館が耐震性がないために建て替えが必要という判断になっていまして、今の面積部分を建て替えるのは耐震補強というところで、そこに国の交付金が当たります。様々な事情で面積を増やす必要性がありまして、その今の面積を超える部分につきましては、新たに建築をするという位置づけになりまして、そこに負担金が当たります。負担金部分だけが28年度の予算ということになりますので、2億5,400万円を計上しておりましたけれども、負担金部分については単独の事業費というものも含まれるんですが、1億2,427万7,000円ということで、工事費だけを見るとマイナス1億2,972万3,000円というものになります。この負担金事業部分についての補正を今回あげたというものになります。それから最後に学校図書館活用教育研究事業費ですが、こちらは県の10分の10委託金20万円を使いまして、高津中学校区での学校図書館を活用した事業実績に伴う研究をするという事業費をここで計上しております。こちら当初予算にないもので、今回の補正で新規事業という位置づけになっております。

村川教育長 学校建設事業費が非常に複雑なものになっておりますが、また確認していただけたらと思います。これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

村川教育長 ほかにありましたらお願いいたします。

島田課長 7月1日付け人事異動の内示をお配りしておりますが、全体では4人の異動がありまして、教育委員会関係としましては匹見支所の住民福祉課に匹見分室と兼務になっている職員がおりまして、今回昇任ということでの内示が出ております。

村川教育長 これについて何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

渡辺委員 一つ聞き漏らしたことがあったんですが、益田市の教育の概要の教育委員会の構成というページで、中野委員さんの任期が平成28年4月1日から平成30年12月25日までとなっているんですけど、これは短くなったんですか。

島田課長 本来ですと4年が任期なんですが、教育委員会制度が新しく変わった中で、初回に限り委員さんの任期を調整することができるという特例があります。今までどおり4年に設定することもできますし、最終的に1年に1人ずつ同じ日に交代するようにそろえることもできるということ、それぞれの教育委員会の判断でできるということが今回特例でありました。益田市教育委員会の場合は元々12月25日が一つ位置づけられていたんですが、これまで交代してきた中で残任期間で次の方が決まったりして日にちがずれてきまして、今回そういう特例があるということで12月25日にそろえさせていただこうということで調整をさせていただいたところです。最終的には全員12月25日にそろえて1年に1人ずつの交代ができるようなスタイルにしていきたいと思っています。

村川教育長 1年に1人ずつ交代できるように調整するためということでございます。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

村川教育長 次回の日程を決めたいと思います。次回は7月26日火曜日の13時30分から定例教育委員会を開催いたします。それでは以上で定例教育委員会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。

終了時間 11時35分